

平成28年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT28133 アニメとイラストで発見！嫌いなひとほどドキドキする数学



開催日：2016年8月7日

実施機関：神奈川大学

(実施場所) (神奈川大学横浜キャンパス)

実施代表者：矢島幸信

(所属・職名) (工学部・教授)

受講生：小学生1名、中学生24名、  
高校生8名

関連URL：

【実施内容】

■受講生に分かりやすく研究成果を伝えるためにプログラムを留意、工夫した点

- ・最初から参加者のハートをつかむ為に、1時限目にオリジナルのアニメ1本と短時間の動画を上映し、受講者参加型のゲーム的な問題も用意して、参加者の期待がふくらむようにした。
- ・2時間目にはもっとも力を入れたオリジナルアニメを上映して、参加者を引き付けるようにした。
- ・3時間目は昼食後であることを考慮して、受講者参加型の手品性の強い数学を楽しんでもらった。
- ・4時限目は少し難しい話であるが、現代を生き抜く上で必要な考える技術 KKSS 法を説明した。
- ・パワーポイントによる画像はすべてUSBメモリーにコピーして参加者全員に配布した。これによって受講中は講義内容に集中することができ、プログラム全体を帰ってからでも復習できるようにした。

■事務局との協力体制

- ・ポスターおよびチラシを近隣の中学と高校に送付してもらった。
- ・実施当日に関して、講義を除くすべての業務(当日の受付、名簿の管理、ポスターの掲示、会場の手配、昼食とおやつを用意と配膳)を事務局が担当した。
- ・参加者の募集や連絡、当日の準備、必要物品の手配等を事務局が行うとともに、実施代表者と数回の打合せを行ったうえで役割分担し、連携して準備・実施が出来た。

■広報活動

- ・県下の中学校・高校に案内のポスターとチラシを配布した。
- ・大学の広報誌およびホームページに掲載した。
- ・かながわサイエンスサマーにて周知した。

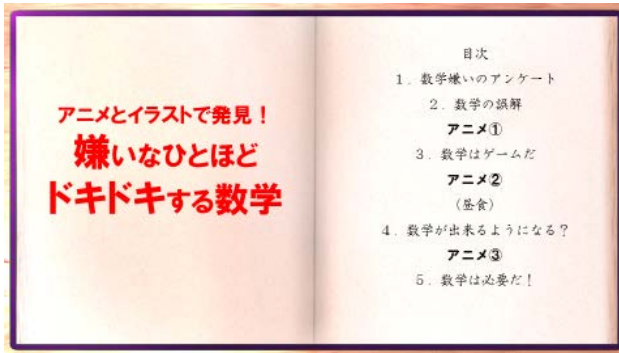
■安全配慮

実験はないので安全性に関する問題は生じないと考えたが、参加者は傷害保険には加入した。実施者・実施協力者については大学の保険でカバーすることとした。

■今後の発展性、課題

アンケートなどにより参加者からはおおむね好意的な評価をいただいている。今後、より多くの数学が「嫌いなひと」に届くよう、活動を継続していきたい。また、今回も前回同様に多くの参加申し込みをいただいたため、次回の募集人数の若干の増加を検討する。しかし、未来博士号の授与などのプログラムの性質上、応募者全員を受け入れることができないことが極めて遺憾である。

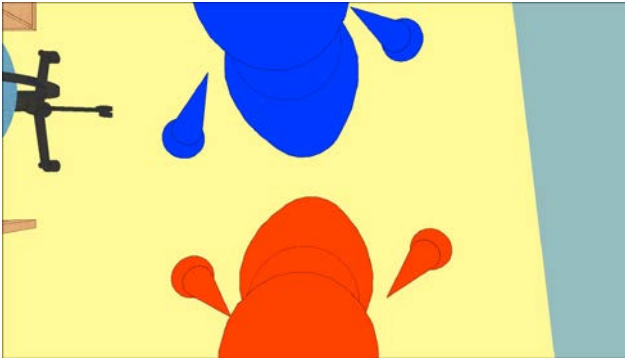
## ■実施の様子



<テーマスライド>



プログラム<隠し絵と図形の問題>



プログラム<動画の中から数学性を>



受講の様子



最後にみんなで集合写真

## ■当日のスケジュール

- 09:30 - 10:00 受付
- 10:00 - 10:15 開講式(挨拶、 科研費の説明)
- 10:15 - 11:00 プログラム①: ★「数学への誤解や偏見を解き、数学をゲームとして捉える。」
- 11:15 - 12:00 プログラム②: ★「数学をゲームのようにして捉える具体的な方法」を説明する。
- 12:00 - 12:45 昼食
- 12:45 - 13:30 プログラム③: 「数学ができない」とはどういうことかを分析する。
- 13:30 - 13:45 休憩
- 13:45 - 14:30 プログラム④: ★「考える技術「KKSSS」を説明する。
- 14:30 - 14:45 クッキータイム
- 14:45 - 15:15 修了式(アンケート記入、復習用 USB の配布、未来博士号授与)
- 15:25 終了・解散

★)アニメを上映するプログラム

【実施分担者】 0 名 【実施協力者】 2 名 【事務担当者】 研究支援課 阿部翠